

事務事業評価票

所管部長等名	市民協働部長 坂本 正治
所管課・係名	防災安全課 消防係
課長名	東坂 宰

評価対象年度 平成23年度

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	消防施設整備事業	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	消防施設整備
会計区分	一般会計		
予算の事業名	消防施設整備事業		
事業コード(大-中-小)	32	01	05
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち	
	施策の大綱(節)【政策】	②安全で安心のまちづくり	
	施策の展開(項)【施策】	①防災・消防体制の整備	
	具体的な施策と内容	(3)消防力の充実	
根拠法令、要綱等	消防法第20条		
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営	○ 一部委託	○ 全部委託
事業期間	開始年度	合併前	終了年度
			未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	<p>・消防水利(防火水槽、消火栓、防火井戸)の新設、改修、維持管理</p> <p>・その他消防関係施設(消防団車庫、消火栓ホース等格納箱)の整備</p> <p>・消防水利や付帯設備の維持管理により、消防団の消火活動を担保し、被害の拡大防止に効果があります。</p> <p>・地域住民の生命・身体・財産の保護という、消防の責務を果たすため必要な事業であり、安心で安全なまちづくりに効果があります。</p>	
事業開始時点からこれまでの状況変化等	<p>【概要】</p> <p>消防団車庫の新設、屋外ホース等格納箱の配備、防火水槽や消火栓、その他の消防水利について、新設や改良、維持管理を実施し、消防活動のための環境を整備する。</p> <p>【23年度事業】</p> <p>① 消火栓の新設</p> <p>② 消火栓直近へのホース等格納箱の配備</p> <p>③ 防火水槽、消火栓及びその他の消防水利の修繕、改良や維持管理</p>		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	33,376	20,153	35,109	35,080	27,259	25,655	
	事業費(直接経費)	千円	29,176	15,953	30,909	30,880	23,059	21,455	
	財源内訳	国・県支出金	千円	6,500	6,013	400	800	1,000	1,000
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円	3,100	400	16,600	14,000	3,400	3,000
		その他()	千円						
	概算人件費(正規職員)		千円	19,576	9,540	13,909	16,080	18,659	17,455
正規職員	従事者数	人	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	
臨時職員等従事者数		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	①	防災水槽の新設数	・地域における消火活動に必要な防火水槽の新設は消防水利の充足率の向上に繋がる	基	1	0	2	2	0
②	消火栓の新設数(基準適合を問わず)	・地域における消火活動に必要な消火栓の新設は、消防水利の充足率の向上に繋がる	基	30	6	21	32	36	34
<p>〈記述欄〉※数値化できない場合</p> <p>・消防水利の充足率は、下記のとおり [消防庁「消防力の基準」を満たす各年度の消防水利の実数] ÷ [「消防施設整備計画実態調査」(3年に1度)に基づく水利基準数]</p> <p>・課題として、現有的消防水利としているもののうち、「消防力の基準」に満たないものが多数あること、特に消火栓では、取り付けられている水道管の径により山間部等では基準外となる実情がある</p>									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A	(現状分析等) ・消防法第20条第2項で、「消防に必要な水利施設 は、当該市町村がこれを設置し維持し及び管理する ものとする」と規定されているため、事業の位置付 や市が主体であることは当然
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化によ り、事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	A	・市民ニーズとして、火災消火のために必要な施設で あり、市が関与し、継続して実施していかなければ ならない
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していませ んか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	A	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	B	(現状分析等) ・事業の達成については、本年度の消防調査で具体的 な水利基準数の調査方法が示されたため、現在確認 中の状況となっている(7月末までに終了予定)
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	・事業内容の見直しについては、火災の不安や住民の 生命身体財産の保護という消防の責務を果たすため に必要不可欠なものであり、検討の余地はない
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	(現状分析等) ・上記のとおり法に規定されている事業であり、民間 委託等はできないものとする
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B	・他事業との統合連携では、消火栓設置について水道 事業との連携を図ることによる事業費削減を、期待 できる(すでに連携している)
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A	・人件費について、臨時職員等の配置も考えられるが 係が所管する事務のうち一部であり、また他の事業 との関連性もあり、具体的には難しい
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	・受益者負担は考えられず、見直しの余地はない

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) ・平成23年度の事業仕分けでの対応方針のとおりとした ・事業仕分けでは、消防水利施設の充実、適切な整備、必要な修繕の実施に ついて、多くの規模拡充の意見があり、本事業の重要性と必要性を再確認 した																					
	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果	改革改善による期待成果																					
改革改善内容	・本年度の「消防施設整備計画実態調査」における消防水利の基準数の 確認と、「消防水利の基準」を満たしたものの把握を行い、必要 となる水利の配備を実施するために「整備計画」の策定を行う ・「消防水利の基準」を満たしていない水利についても、地域の要望 や配置及び使用時の能力を考慮しながら、適切な配備に努める ・なお、計画策定においては、各地域の実情を精査し、水道事業ほか 支所や自主防災会などと連携を図り、コストまで考慮した実効性の 高いものとなることを目標とする	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別 委員会における 意見等	(委員からの意見等) [22年度] 堀口議員：消防水利の現状と今後の整備計画を質問、その後「必要な整備を進めてもらいたい」 [23年度] 田中議員：水利点検の実情を質問、その後「点検実施と修繕把握の徹底」を要望 増田議員：防火井戸の浸漬対応を質問、その後「水量減少の解消のための浸漬等」を要望
--------------------------	---